

【（公財）東京観光財団】の活用戦略を踏まえた課題と今後の方向性

活用戦略で定めた「団体の将来像」

国内外とのネットワークを活用し、旅行者やMICEを誘致するとともに、地域の先導役を担うことで観光産業振興の発展を牽引するプロフェッショナル

重要課題 ①

東京2020大会とその先を見据えた観光需要の創造に向け、プロモーションや新たな観光資源の発掘など、財団としての専門性をより高め、いかに観光施策の展開を図っていくか

検討の状況や今後の方向性

- 東京2020大会後を見据え、各市場の動向を踏まえたプロモーション展開が重要であり、とりわけ経済波及効果の高い富裕層市場へのプロモーションに積極的に取り組んでいく。
- また、東京の魅力を高めるため、地域支援窓口が中心となり、地域の観光関連団体等の主体的な活動に対する各種支援策の活用を助言するとともに、関係者の連携を図ることで、観光資源の発掘や磨き上げを加速させていく。
- 今後は、旅行者ニーズ把握のためのマーケティングスキルや現場経験に基づく企画力等、職員の専門性向上を図るとともに、民間事業者等とのネットワークを活用した共同研究の実施等により、施策提案能力の向上を図っていく。
- こうした取組により、東京2020大会後も「世界から選ばれ続けるTOKYO」の実現を目指していく。

【（公財）東京観光財団】の課題と今後の方向性

重要課題 ②	観光を東京の成長を牽引する有力産業へと発展させるため、高い経済波及効果と都市のイメージアップに寄与するMICE誘致施策をいかに展開していくのか
検討の状況や今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">○ 海外他都市とのMICE誘致競争に勝ち抜き、東京での開催件数を増加させるため、誘致・開催に係る資金面の支援強化に加え、財団のノウハウを活用したハンズオン支援に取り組んでいく。○ また、誘致の重要なツールであるユニークベニューについて、ワンストップ総合支援窓口や、特設ウェブサイト等による情報発信、ショーケースイベントの新たな実施により、施設の更なる開発・活用を推進していく。○ さらに、国内他都市との連携やMICE関連の国際機関等への職員派遣などを通じて、ネットワークの拡充や専門性の強化を図っていく。○ こうした取組により、高い経済波及効果が見込まれるMICE誘致を一層促進し、「稼ぐ東京」の実現に貢献していく。